

取組事例発表

# 環境ビジネスが必要な理由と SDGs の必要性

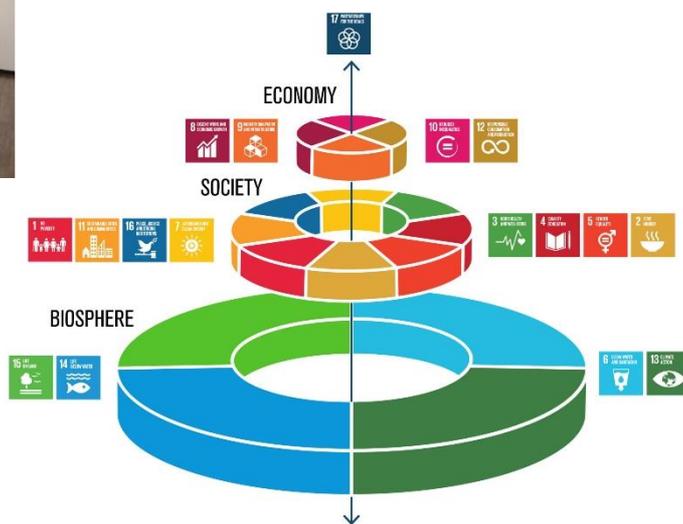
～国際ソロプチミスト高松様をお迎えしての勉強会～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場 太郎)は、令和4年6月21日に国際ソロプチミスト様をお迎えしての勉強会を実施いたしました。国際ソロプチミスト様は約121の国と地域に2947のクラブを持ち、国際社会に向けて「女性の地位向上、すべての人の人権、平和と平等」を求める理解促進、提唱活動に取り組んでおられます。当社としても微力ながらお役に立てれば幸いと考え、馬場太郎 社長から当社が創造する未来の社会づくりと幸せの価値について発表を行いました。当社として、環境ビジネスが少しでも多くの方々と共存し共鳴しあえる、未来を望み、日々新たな取り組みに挑戦し続けています。



当社 社長から事業内容や SDGs に関する取り組みについて発表をさせていただき、その後は実際の廃棄物処理の現場を見学いただきました。普段の生活ではなかなか目にするのではない光景であったと存じますが、大変熱心にご質問くださり、当社として地域の皆様に取り組みを発信することの重要性を改めて見つめ直すことができました。

SDGs (持続可能な開発目標) として、気候変動や海洋汚染、貧困問題などの社会問題解決に向けた全部で17のゴールが掲げられています(2015年国連サミット)。その17のゴールを「経済」、「社会」、「生物」の3階層で整理したものが右図の「ウエディングケーキモデル」です。3階層の1段目「生物圏」に分類される「自然環境を守る」、「気候変動に具体的な対策を」というゴールはSDGs全体の土台として位置づけられています。当社は廃棄物の適正処理または資源化という環境ビジネスを通じて、すべてのSDGsの達成に貢献することができる企業を目指しています。



SDGs ウエディングケーキモデル

出典：Looking back at 2016 EAT Stockholm Food Forum – Stockholm Resilience Centre

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com